

ダム
だより



水のわ

第110号

平成29年10月

長崎県石木ダム建設事務所

住所 東彼杵郡川棚町百津郷394-2

電話 0956-82-5109

ホームページ

石木ダム建設事務所 で 検索

もしくは、右QRコードから



講演会のお知らせ

「今、考えよう。多発する水害とダムの役割」

日時

平成29年11月12日(日)

15:00 ~ 16:30

場所

川棚町中央公民館 2階講堂

住所：東彼杵郡川棚町中組郷1506

参加

無料 (どなたでも参加可)

諫早大水害から60年、佐世保水害から50年、長崎大水害から35年の節目となる今年、7月には九州北部豪雨が発生し、壱岐市でも大雨が観測されました。また、9月には台風により大分県などで大規模な災害が発生しました。

普段は私たちの暮らしに潤い・恵みを与えてくれる川棚川も、ひとたび大雨が降れば災害をもたらすこととなり、ここ川棚町も、これまで幾度となく水害に見舞われています。

県内でも有数の流域面積を誇る川棚川周辺に大雨が降ったら……。いつでも、どこでも起こりうる大雨への備えについて、この機会に一緒に考えてみませんか？

講演者

演題、講師プロフィール等の詳細は裏面を参照ください。

気象予報士 永田健太郎 氏

諫早大水害体験者 田河文乃 氏

ダム愛好家 星野夕陽 氏



【共催】石木ダム建設事務所、石木ダム建設促進川棚町民の会

【問合せ先】長崎県石木ダム建設事務所 電話：0956-82-5109

プログラム & 講師紹介

15:00～ 開会・主催者あいさつ



15:05～ 九州北部豪雨などにみる近年の局地的大雨

気象予報士 永田健太郎 氏（福岡県在住）

気象庁、日本気象予報士会との連携プロジェクトなどにおいて、講演会や出前講座等の講師を務め、防災意識の啓発活動を精力的に行われており、特に市民向けの「お天気講座」は、小学生にも楽しくわかりやすいと高い評価を受けています。このような活動が評価され、2016年6月には、福岡管区気象台から感謝状も受け取られています。今回は、昨今の局地的大雨などについて、分かりやすくお話いただきます。



15:35～ 豪雨災害の恐ろしさ～諫早大水害の体験～

諫早大水害体験者 田河文乃 氏（諫早市在住）

今から60年前、630人という本県最大の犠牲者を出した諫早大水害。田河さんは、当時、県営バスの観光ガイドとして勤務しておられ、濁流にのまれながらも立木につかまって一夜を明かし、一命をとりとめるという壮絶な体験をされました。今回は、大水害が起こったらどうなるか、貴重な体験をお話いただきます。



15:55～ 洪水時のダムの活躍

ダム愛好家 星野夕陽 氏（東京都在住）

日本ダム協会認定のダムマイスター、ダム愛好家として、関東・東北豪雨における鬼怒川の洪水とダムの活躍についてシンポジウムで基調講演を行うなど、実際に大雨が降ったときのダムの活躍についてPR活動が行われています。川の水位変化などのリアルタイムな情報発信は多く方に閲覧され、ダム愛好家のみならず多くの方の人気を博しています。今回は、九州北部豪雨などを事例に、縁の下の力持ちとして活躍するダムについてお話いただきます。

16:30 閉会

過去、本県で発生した主な水害

本県の地形は、海と山が近く急な傾斜が多いという特徴から、河川は距離が短く急流なため、大雨が降れば激流となり、これまで何度も大きな水害に見舞われてきました。

諫早大水害 昭和32年7月



[提供：諫早市]

集中豪雨により本明川が決壊し広範囲に濁流が押し寄せ、諫早市を中心に多大な被害をもたらした。

（死者・行方不明者 630 名）

西日本水害 昭和42年7月



[提供：佐世保市]

西日本地方での激しい雨により、佐世保市や五島市で川の氾濫やがけ崩れが発生し、被害をもたらした。

（死者・行方不明者 50 名）

長崎大水害 昭和57年7月



[撮影：長崎県]

梅雨末期の激しい集中豪雨により、洪水・がけ崩れなどが同時に多発し、長崎市を中心に甚大な被害をもたらした。

（死者・行方不明者 299 名）



石木ダムに対するご質問、ご意見等がありましたら下記連絡先にお寄せください。

長崎県 石木ダム建設事務所 電話 0956-82-5109
土木部河川課 電話 095-823-3280